

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

リハビリを通して沖縄の文化や生活を知っていただく(宮里)
沖縄だからこそ発信できる平和的な国際医療貢献を(東)

宮里 好一 × 東 良和

みやざと よしかず ひがし よしかず

医療法人タビック 理事長 1954年、美里村(現・沖縄市)生まれ。岡山大学医学部卒業後、琉球大学医学部講師・総医局長を経て90年に宮里病院、96年に沖縄リハビリテーションセンター病院を開設。沖縄県回復期リハビリテーション病棟協会会長などの役職や『医療ツーリズム』(医業ジャーナル)など著書多数。

沖縄ソーリスト株式会社代表取締役会長 1960年、那覇市生まれ。早稲田大学社会科学部卒業後、日本航空に入社。コーネル大学ホテルスクール大学院卒業(90年)を経て同年、沖縄ソーリストに入社。2004年よりCEOに就任、現在に至る。WUBネットワーク会長、沖縄県ユネスコ協会会長など役職多数。

沖縄の観光産業をさらに発展させると期待されている「医療ツーリズム」。今回は、実際に医療を担当する医療法人タビックの宮里好一理事長と観光面を担う沖縄ソーリスト株式会社の東良和会長に、医療ツーリズムの現状と展望を語ってもらいました。

世界の平和に貢献する医療ツーリズムを

宮里 まず私から、医療ツーリズムについて説明しましょう。これは検診や治療、手術などを目的とした海外からの旅行客を受け入れようというもので、特に盛んなタイでは年間約250万人を海外から受け入れているように

世界トップクラスの沖縄のリハビリ

宮里 「リハビリテーション」というのは、単なる「機能訓練」ではありません。その言葉には「新しい人生の形を再構築する総合的な取り組み」という意味が含まれています。あまり知られていないのですが、リハビリの分野において日本の医療は世界一の技術を持っています、その中でも沖縄は特に進んでいます。沖縄リハビリテーションセンター病院は3年前、患者に対する職員の数や退院率などで日本一のリハビリ体制が整っているとの評価をいただきました。実は今日、中国の深圳から「3年間でいいから、老人福祉協会のアドバイザーになってくれないか」という依頼がありました。医療や介護分野あるいはリハビリ分野で中国の若い人たちに技術を教えてほしいと。彼らは3〜4週間滞在して研修をして、沖縄のことを深く知ることになるでしょう。

東 協議会でも当初は中国に派遣団を送ったりしていましたが、最近の観光業界は急増する訪日外国人の対応に追われていて、特殊なケアを要するものに関してはすこし足踏みしている状態のようです。長い目で見ると宮里理事長がおっしゃるように、数だけではなく互いのQOL(生活の質)を高めていくような交流が相互理解につながるはずです。また長期滞在では、沖縄県民のチームワークが相手に伝わりやすいという意味です。ごい利点だと思えますよ。短期間の滞在なら、表現力があって心地よい言葉を使う人が向いているかもしれませんが、期間のお付き合いになると、その人が持つて

最終的には、沖縄がQOLを向上させる島にしたい

いるホスピタリティーの本質が分かってくる。そうすると、ウチナンチュのチムグクルの素晴らしさは抜群で、グローバルに通用すると思えますよ。あと沖縄は人材が豊富で、理学療法士は人口あたりで全国一多いそうですね。それに豊かな自然環境と温暖な気候がありますので、飛行機で2時間圏内に20億人の市場を持つ沖縄の地理的条件というのは非常に優位性があると思います。

宮里 先日、中国から奥さま同伴で当院にリハビリを受けにいらした方が1カ月ほど滞在されました。ご本人は病棟に、奥さまは隣接する老人施設で過ごしていたのですが、リハビリとはいっても1日中するわけではありません。お2人は時間を見ては周辺を散策し、スパーやコンビニにも行っていたようです。その方に沖縄の印象をお聞きしたら「医療スタッフが膝をついて、目を見ながら優しく話しかけてくれるのでびっくりした」とおっしゃっていました(笑)。ホスピタリティーはよく観光業界で話題になりますが、医療業界も同様ですよ。

東 ご承知のように、ホスピタリティーとホスピタルの語源は一緒です。あとホテルもそうですね。この語源が同じ3つの言葉が、沖縄の地で再び統合されるというのは本当にワクワクします。ただし、その実現のためにはいくつかの課題があります。ひとつは県内における外国人の受け入れ体制で、医療から宿泊、2次交通まですべてワ

うです。他にもシンガポールやマレーシアでは国策として推進しています。わが国でも最近はずいぶん増えてきているようではあります。が、まだまだという感じがします。

東 沖縄県では2011年6月に医療、大学、旅行観光業界の関係者が集まって研究および基礎調査を実施する「万国医療津梁協議会」が立ち上がりました。その中で、県医師会からは「邦人・外国人の区別なく、沖縄滞在中の医療を万全の態勢でサポートする」という強いメッセージをいただいております。他府県と比較すると沖縄は進んでいるようで、観光産業に携わる者としては心強いですね。

宮里 県医師会が日頃から外国人と交流していることも関係しているのでしょう。実は先ほどお話のあった協議会の前身である「沖縄ウエルネス産業研究会」が2010年3月に立ち上がった時、その実質的な作業グループである「国際医療交流ワーキンググループ」の委員に東会長もいらっしゃいましたよね。そこではかなり具体的に医療ツーリズムのあり方や優先順位について議論をされていて、当時その研究会の委員だった私は報告書を拝見して驚きました。そこでは検診とリハビリテーションの2つを優先することが、はつきりと打ち出されていた

ンストップで対応できるか。次に出発地である国や地域に対して、沖縄の医療ツーリズムや国際医療交流をどのように発信していくか。あとは現地で申し込むことのできる流通の部分ですね。それらが上手にいくようにになれば「沖縄に来ると健康になる」「健康を取り戻せる」という、沖縄でしかできない付加価値を提供できると思います。最終的には「QOLを向上させる島」として認知されれば素晴らしいですね。

宮里 私たちのグループは医療だけではなく、フィットネス産業や観光施設など総合的な医療生活産業を目指しています。その関連でいうと、例えば那覇市の栄町商店街では医療法人陽心会様がスタッフを派遣して、商店街で行った健康チェックをもとにその場で運動・栄養などについてそれぞれ処方箋を発行しています。また食事レシピなどを指導して、ともに高齢である売り手と買い手が買い物やリハビリを通して、それぞれ自立した生活を送っています。このように普段の生活の中で医療が身近に利用できる医療生活産業という分野が、これからの医療の形を変えていくでしょう。そういった環境があって、そこに海外から来た旅行者が「今回は健診も受けてみようかな」と自然に思えるような医療ツーリズムの仕組みになればいいと思います。1人の医療ツーリズム利用者は10人の海外からの旅行者に相当する経済効果があるといわれています。そういった意味でも有望な分野としてぜひ発展させていきたいと思っています。東 ぜひ力を合わせ、実現に向けて取り組んでいきましょう。

宮里 こちらこそよろしくお願い致します。

んでですね。それがその後の協議会に発展していくわけですが、東会長が個人的なコメントとして「これまでいろいろな苦しみ乗り越えてきた沖縄で、リハビリテーションという分野を充実させ、これを新しい医療ツーリズムの形にするのは非常に意義深いこと」とおっしゃっていました。私は「こういう方がいらつしやるんだ」と感動したことを覚えています。

東 ありがとうございます。光榮です。私なりに考えている観光の意義というのがありまして、第一に「相互理解による平和交流への貢献」。次に「地域の自然や伝統文化を大切にする」。今は訪日外国人の数がかなり増えてきていますので、どちらかというと経済面がフォーカスされる傾向にあります。が、「地域経済発展への貢献」というのは3番目だと思っています。それを踏まえて、糸満市摩文仁の「平和の礎」のような理念を持った医療交流があってもいいのではないかと。具体的に言うと、現在世界各地で紛争が続いていますが、敵も味方も関係なく沖縄の地で治療やリハビリが提供できるのであれば、それは非常に素晴らしいコンセプトになるということです。「沖縄だからこそ発信できる平和的な国際医療貢献のために少しでもお役に立ちたいと考えております。



医療法人 陽心会

理事長



社会福祉法人 陽風会

高良 健

大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
美容形成部門 TEL.098-869-0066
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050

メディカルプラザ大道中央
那覇市宇大道123 TEL.098-886-0007(代)
一般内科部門 TEL.098-869-0711
循環器部門 TEL.098-886-0072
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-0078

小規模多機能型ホーム大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0018

地域交流センター大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0056

グループホーム大道が丘
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0036

(提携)メディカルエステ大道
那覇市安里3-1-3 TEL.869-0018

(提携)福祉用具貸与・販売事業所
那覇市安里128 TEL.098-885-0100

(提携)ヒルズガーデンクリニック
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0333

(提携)ヒルズガーデン那覇
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

在宅総合ケアセンター陽心会
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

大道老人訪問看護ステーション
那覇市大道128 TEL.098-885-2885

グループホームたかまーみの家
那覇市安里3-1-47 TEL.941-0080

(提携)那覇市地域相談センター末吉
那覇市首里末吉4-6-1大明ビル1F TEL.098-885-0178

末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉2-14 TEL.098-886-3510

(提携)有料老人ホーム健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

デイサービスセンター安里
那覇市安里388-5 TEL.098-886-0328

デイサービスセンター三原
那覇市三原1-31-20 TEL.098-840-0051

辻町若狭クリニック
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0012

(提携)小規模多機能型ホーム若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

(提携)地域交流センター若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0552

(提携)グループホーム若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

壺川老人福祉センター
那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139

ケアハウス常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036

小規模多機能型ホーム牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

地域交流センター牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

小規模多機能型ホーム三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

地域交流センター三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

(辻町)小規模多機能型ホーム辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)地域交流センター辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)有料老人ホーム松風邸
那覇市辻2-10-4 TEL.098-869-8557

那覇市地域相談センター若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-863-1165

辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.864-0580